

令和7年度

市政モニターアンケート調査結果
【サステナプラザながさきについて】



長 崎 市

ゼロカーボンシティ推進室

1. 調査の目的

市民主体の環境活動拠点として、「サステナプラザながさき（長崎市地球温暖化防止活動推進センター）」で地球温暖化対策の普及啓発などや、サステナプラザながさきの周知をさまざまな方法で行っています。

このアンケートは、サステナプラザながさきの認知度や利用状況についてどのような変化があるのかを把握・分析し、今後の施設運営に役立てることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間：令和8年2月6日 ～ 令和8年2月24日

送付数：261人

回答率：74.3%（194人）

（郵送回答 112人（57.7%）、インターネット回答 82人（42.3%））

3. 調査結果

今回の調査結果では、令和5年度に実施した調査から認知度及び講座などに参加したいと考えている方の割合が全体的に低下していることがわかりました。認知度向上については周知啓発、講座などについては市民がより利用したいと思える仕組みづくりが必要だとわかりました。

また、環境について気になることとして様々な意見をいただき、環境問題（特にごみの問題）についての意見や、身近な環境行動に取り組みたいと考えていることがわかりました。

4. 調査結果の見方

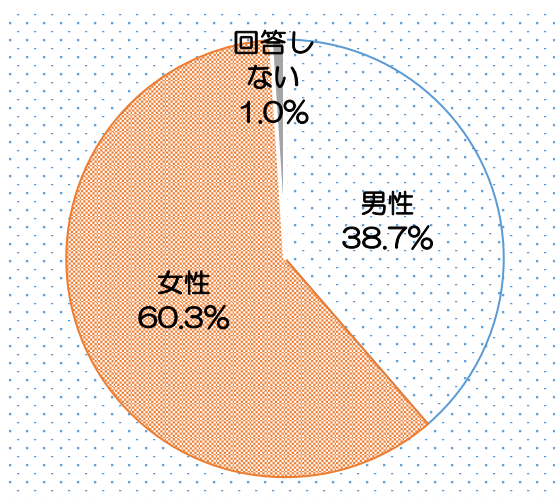
調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が100パーセントを上回る場合があります。

なお、回答者数の異なる問については、回答者の数を「N=〇〇人」で表現しています。

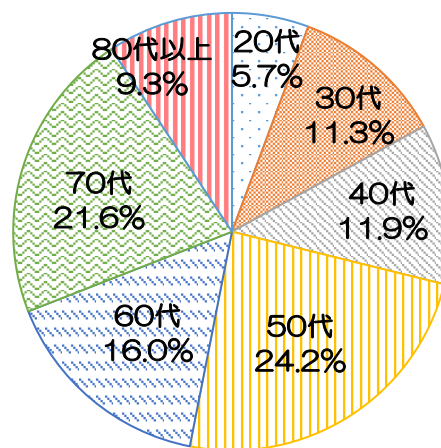
問1 あなたの性別をお答えください。

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|-------|------|--------|
| 男性 | 75人 | 38.7% |
| 女性 | 117人 | 60.3% |
| 回答しない | 2人 | 1.0% |
| 合計 | 194人 | 100.0% |



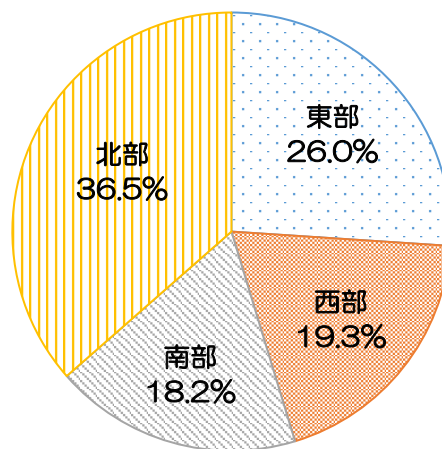
問2 あなたの年齢を選択してください。

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|-------|------|--------|
| 20代 | 11人 | 5.7% |
| 30代 | 22人 | 11.3% |
| 40代 | 23人 | 11.9% |
| 50代 | 47人 | 24.2% |
| 60代 | 31人 | 16.0% |
| 70代 | 42人 | 21.6% |
| 80代以上 | 18人 | 9.3% |
| 合計 | 194人 | 100.0% |



問3 お住まいの町名を教えてください。

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|-----|------|--------|
| 東部 | 50人 | 26.0% |
| 西部 | 37人 | 19.3% |
| 南部 | 35人 | 18.2% |
| 北部 | 70人 | 36.5% |
| 合計 | 192人 | 100.0% |



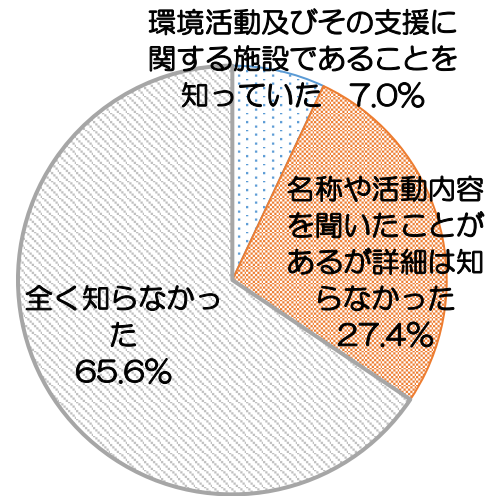
(無回答 2人)

※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。

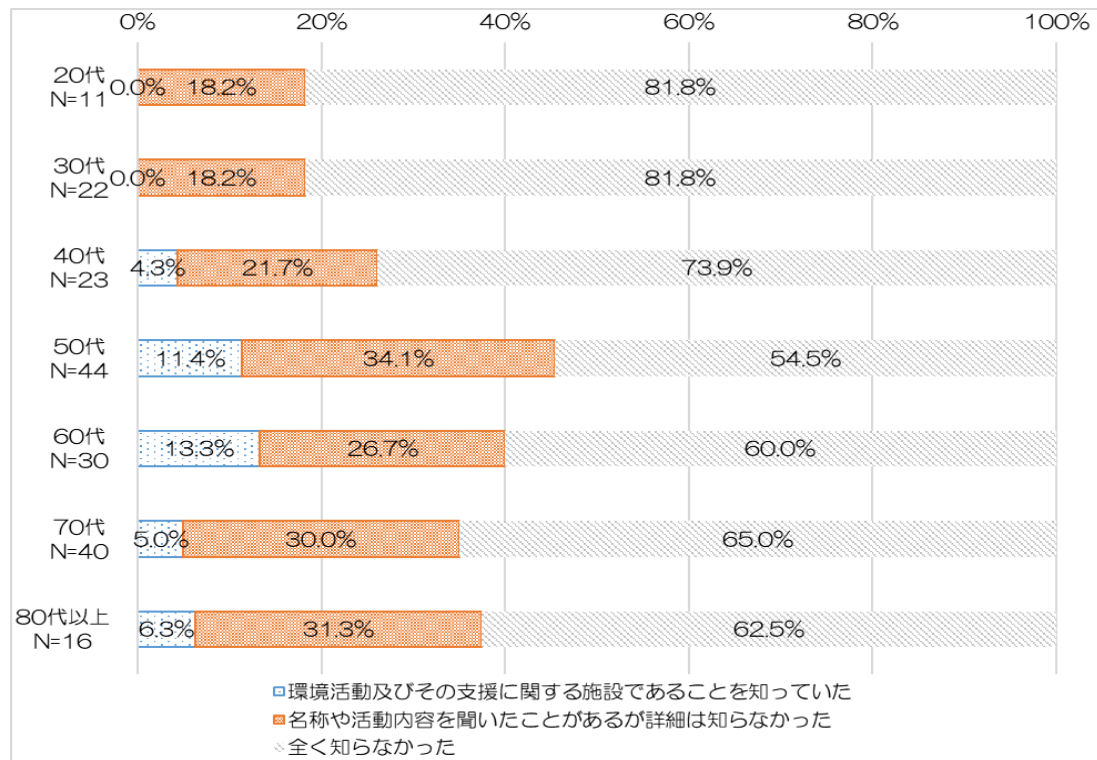
問 38 あなたは「サステナプラザながさき」がどのような施設か知っていますか。（当てはまるものを1つ回答）

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|-----------------------------|-------|--------|
| 環境活動及びその支援に関する施設であることを知っていた | 13 人 | 7.0% |
| 名称や活動内容を聞いたことがあるが詳細は知らなかった | 51 人 | 27.4% |
| 全く知らなかった | 122 人 | 65.6% |
| 合計 | 186 人 | 100.0% |

（無回答 8人）



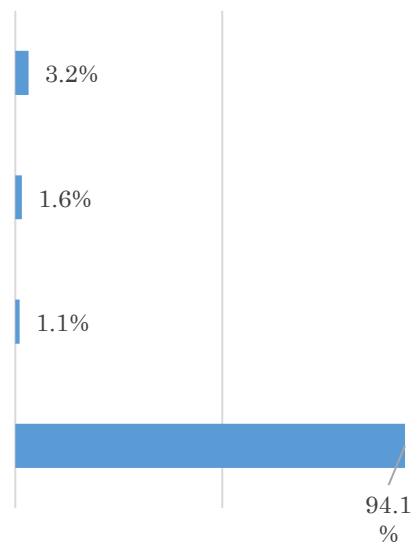
〈年齢別割合〉



「全く知らなかった」と回答された方が約 66%、「環境活動関連施設であることを知っていた」、「聞いたことがあるが詳細は知らなかった」の合計が約 34%であり、令和 5 年度に実施した調査での認知度が約 46%であったことから認知度が低下していることがわかりました。そのためより周知に力をいれて、認知度の向上に努めたいと思います。

問 39 あなたは「サステナプラザながさき」を利用したことがありますか。
 (当てはまるものを1つ回答)

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|--------------------------------------|-------|--------|
| 施設で行われたイベント・講座に参加したことがある | 6 人 | 3.2% |
| イベント・講座には参加していないが、施設を利用または訪問したことがある。 | 3 人 | 1.6% |
| 施設には行ったことはないが、問い合わせをしたことがある | 2 人 | 1.1% |
| 利用したことはない | 176 人 | 94.1% |
| 合計 | 187 人 | 100.0% |

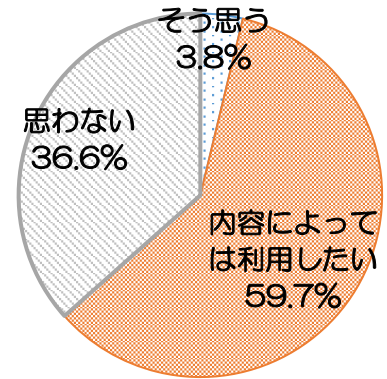


(無回答 7人)

利用されたことがある方の割合（「施設で行われたイベント・講座に参加したことがある」「イベント・講座には参加していないが、施設を利用または訪問したことがある。」の合計）が約 4.8%となっており、令和 5 年度に実施した調査では 4.2%であったことから大きな変化が見られませんでした。特にイベントや講座の参加者数を増加させるために、市民へわかりやすく周知するなどの努力をすることが必要であると考えました。

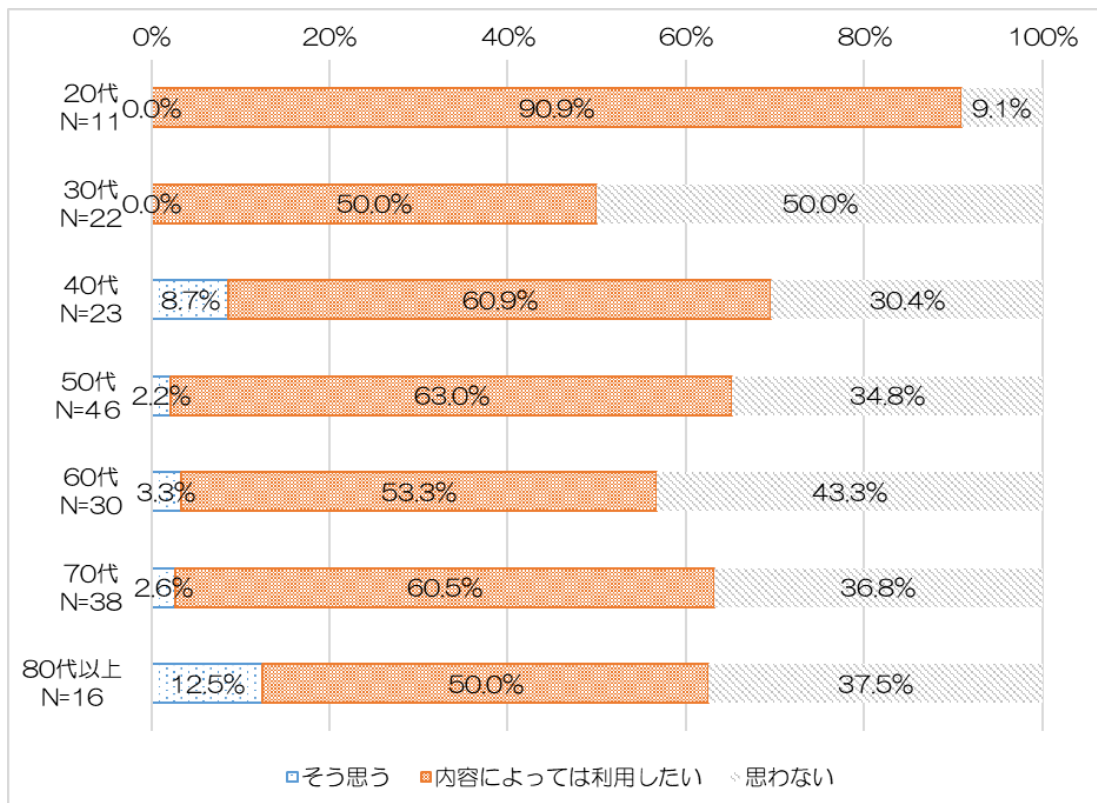
問 40 「サステナプラザながさき」では、グループや組織に環境に関する専門知識や経験を備えた推進員などを派遣し、環境に関する講座を行う出前講座などを行っています。利用したいと思いますか。（当てはまるものを1つ回答）

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|--------------|-------|--------|
| そう思う | 7 人 | 3.8% |
| 内容によっては利用したい | 111 人 | 59.7% |
| 思わない | 68 人 | 36.6% |
| 合計 | 186 人 | 100.1% |



（無回答 8人）

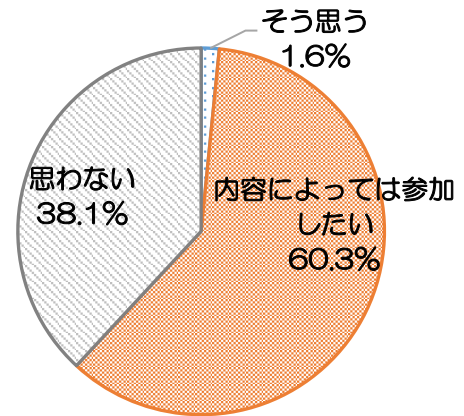
〈年齢別割合〉



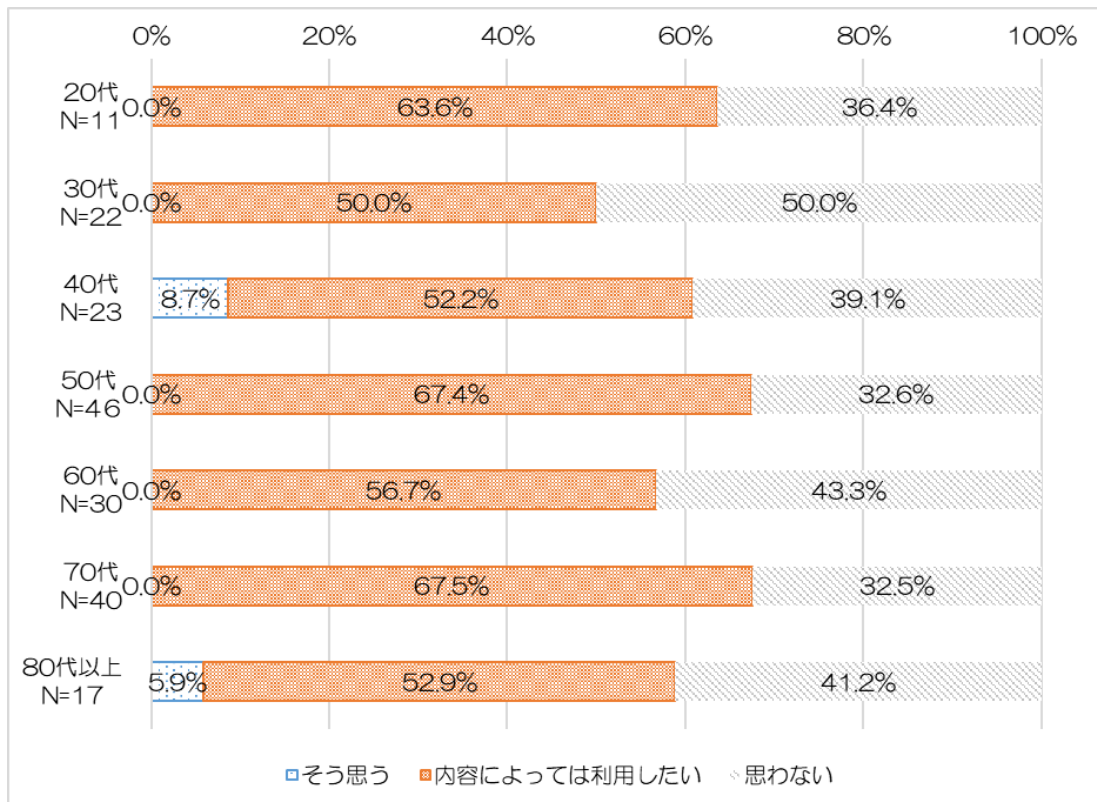
令和5年度に実施した調査では約76%の方が「そう思う」「内容によっては利用したい」との結果でしたが、今回の調査では約64%に低下していることが分かりました。市民が利用したいと思えるような仕組みづくりが必要だと感じました。

問 41 「サステナプラザながさき」では、月に1回程度、多彩な講師を招き、環境に関する講座（サステなひろば）を実施しています。参加したいと思いますか。（当てはまるものを1つ回答）

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|--------------|-------|--------|
| そう思う | 3 人 | 1.6% |
| 内容によっては参加したい | 114 人 | 60.3% |
| 思わない | 72 | 38.1% |
| 合計 | 189 人 | 100.0% |



（無回答 5人）



令和5年度に実施した調査では約77%の方が「そう思う」「内容によっては参加したい」との結果でしたが、今回の調査では約62%に低下していることが分かりました。市民が利用したいと思えるような仕組みづくりが必要だと感じました。

問 42 環境のことについて知りたい情報・気になるキーワードがあれば自由にお書きください。(身近にできる環境活動、地球温暖化による影響、学習できる場所など)

【自由記述】

(ごみ)

- 長崎市のごみ分別について正しく学ぶセミナー
- 自販機横に設置されたごみ箱に無理矢理投入されたごみの問題
- ごみのポイ捨て(空き缶、空きペットボトル、吸い殻など)
- 観光地のごみのポイ捨て(ボランティアを派遣してほしい)
- ごみ処理

(自然環境)

- 樹木や緑を増やしてほしい
- 森の整備
- 卓上ガスコンロ用のカセットガスについて、未使用の処分方法を知りたい。
- 廃油や未使用期限切れの食用油の回収場所を知りたい。

(資源・リサイクル)

- 循環型社会
- フリーマーケット
- リサイクルの情報
- 不用品の交換や「あげます」「買います」の情報
- リサイクル、不用品の寄付、本や子供服などランドセルや卒業した子の制服などの寄付について。

(エネルギー)

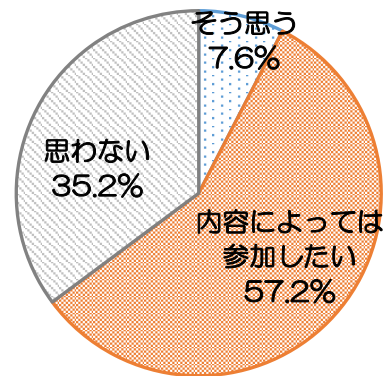
- 気候変動を感じるため太陽光パネル設置などの各家庭やハウスメーカーの取り組みについて知りたい
- 他地域で問題化しているメガソーラー。長崎の状況はどうなっているんだろう？
- 太陽光発電のメリット、デメリット
- 長崎市内の太陽光発電の普及状況

(全般)

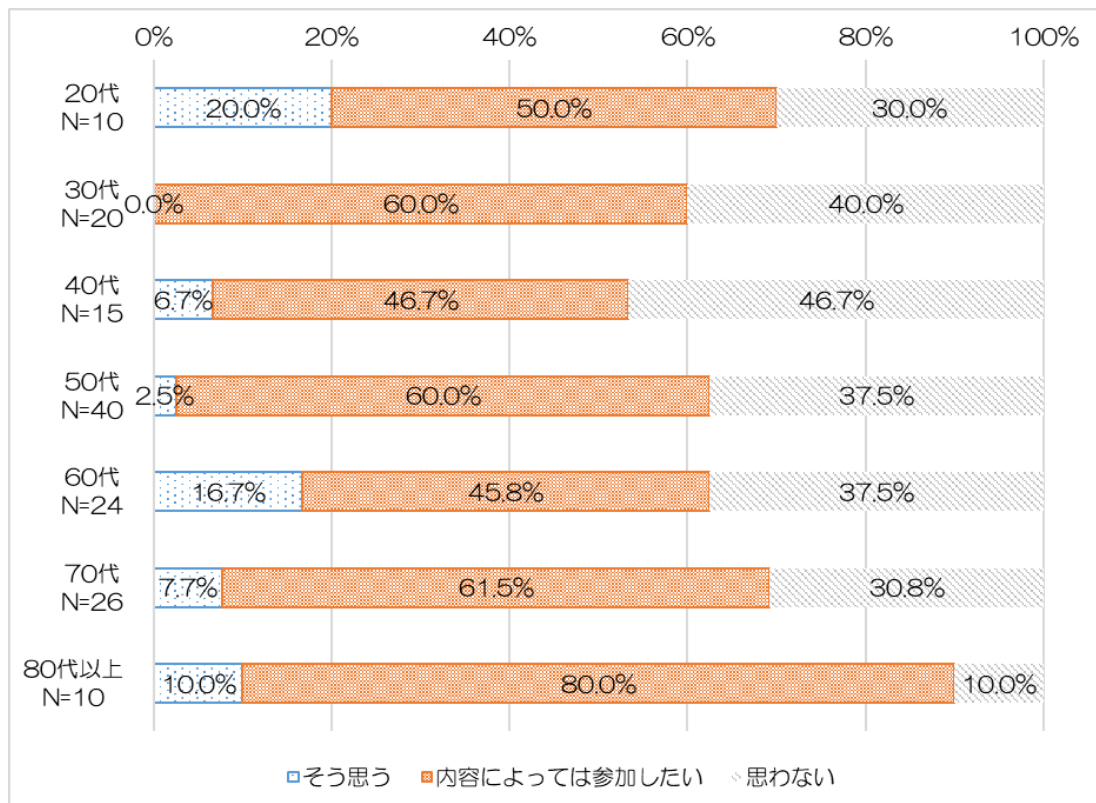
- 手軽に行えることができる環境活動があれば知りたいです。
- 長崎県が他県に比べ、どの程度環境活動に取り組んでいるか。
- 身近にできる環境活動

問 43 問 42 でご回答いただいた内容に関する講座を開催する場合、あなたは参加したいと思いますか。(当てはまるもの1つ回答)

| 選択肢 | 回答者数 | 割合 |
|--------------|-------|--------|
| そう思う | 11 人 | 7.6% |
| 内容によっては参加したい | 83 人 | 57.2% |
| 思わない | 51 人 | 35.2% |
| 合計 | 145 人 | 100.0% |



〈年齢別割合〉



「そう思う」「内容によっては参加したい」の割合が約 65%であることから、環境について市民が感じている問題や疑問を把握し、解決につながる講座を開き、周知をすることが必要だと感じました。